

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなで考えよう！地球環境のこと
事業主体 (連絡先)	木曾町 環境水道課 (0264-22-3320)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	399,727円 (うち支援金: 319,000円)

事業内容

- 保育園・幼稚園参観日の折にSDGs教室を開催
開田保育園、三岳保育園、木曾幼稚園で「園児向けデジタルのSDGs紙芝居」「SDGsのマークを探そう」の学習メニューによりSDGsを親子で学んだ。また、オリジナルマイバックに転写する絵柄に色塗りを行った。(参加者 74名)
- 参加者を募集し、木曾町文化交流センターでSDGs学習会を開催
「大人向けデジタルのSDGs紙芝居」「SDGsババ抜きカードゲーム」によりSDGsについて学習した。(参加者 11名)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

学習終了後に中学生以上の参加者にアンケートを実施した。回答者の8割以上が満足している結果が得られた。「子どもにも理解できるスライドを使って分かりやすい説明がされている」「SDGsの認証マークを親子で楽しみながら探したことで、普段の買い物の中で意識しながら購入したい」などの感想をいただいた。

また、ゴール14「海の豊かさを守ろう」に関して「今日からわたしにできること」について考えていただき「川をキレイに大切にする」「ビニールやプラスチックの製品を使用するのは控える」など宣言をいただいた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アンケートでは学習会の継続を望む声もある。学習会の内容を検討しながら今後も継続したいと考える。親子を主なターゲットとするが、団体等へも学習会開催を呼び掛けたい。

また、作成したマイバックの活用、レジ袋の購入がどれだけ減少したのか、学習会後の環境に配慮した実践行動など、今回参加された方にアンケート調査を実施して学習会の成果を検証したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【SDGs教室の様子】

【目標・ねらい】

- ① 親子で環境問題を学ぶ。
- ② 日常生活で環境保全のため何ができるか考え行動する。
- ③ プラスチックごみ削減の啓発

※自己評価【B】

【理由】

コロナ感染症により事業の延期や開催方法の見直しを余儀なくされたが、参加者から学習会について満足度が高い結果を得る事が出来た。